

技術職員のための英文ライティング実習

「間違えて覚える」

技術職員の中にはすでに英語で論文を書いている方もいると思います。論文を書くにはその内容・構成が重要なのであって、それは日本語でも英語でも同じことです。

今回の研修は論文を書くためではなく、その前段階の英語そのものを書く練習をします。目標はマニュアルなどを書けるようになることです。ですから英語のレベル的にはこれから英語で書いてみようという初級的なものにする予定ですが、受講者のレベルに合わせていきたいと思います。

講師の中村は J-PARC の安全ディビジョンで英語化 WG のまとめ役をされており、これまで J-PARC の外国人を対象にした放射線講習、ハンドブック・ポスター作製などに携わってきました。それらは決して最初から完璧にできたわけではなく、試行錯誤して学んできました。

この研修ではただ講師の話聞くだけでなく、実際に英文をそれぞれ書いてもらいます。そのときは恥ずかしいと思わず大いに間違えて欲しいと思います。間違えるとそれが印象に残ってよく覚えるものです。実践することが重要です。(逆に間違えないで課題ができる人はこの研修は必要ないかな?)

研修の概要は以下のものを予定しています。

1 英文マニュアルを読んでみる。

「ライティングの研修なのになぜリーディング?」と思った方もいるかもしれませんが、英語の表現の仕方を全く知らなければ英語の書きようがありません。英語のマニュアルをいくつか読んで英語の表現を覚えていきましょう。受講者のレベルが高い場合はここを省略するかもしれません。

2 短い英文を書いてみる。

例えば「天井の電灯を換えてください」をどう英語にしますか? 「**change light of ceiling, please.**」はどうでしょうか? この研修はこういった英語を書いてしまう人が対象です。Change は例えば蛍光灯から LED に変更するなら良いと思いますが、交換する意味なら Replace です。

名詞は冠詞なしでは使わないので **light** だけではだめです。話し手と聞き手がどの電灯かわかっているなら **the** を付けなくてははいけません。その電灯が複数あるなら複数形にしなくてははいけません。どの電灯か決まらず、例えば「天井の電灯を交換するのが仕事です」のように一般的に電灯をいうには **lights** と複数形にしなくてはなりません。天井の電灯を表すときに **of** を使いがちですが、実際は天井についている電灯なので **lights on the**

ceiling としなくてはなりません。

Replace the lights on the ceiling. が回答例です（聞き手と話し手がどの場所の電灯を換えるかが分かっている場合）。最初のうちはこういったことを繰り返していきます。すぐに回答がわかった方には物足りないかもしれません。

3 短い英文の文章を書いてみる。

何かの作業の手順など英語で書いてみましょう。それを参加者全員で検討します。これがこの研修の肝となります。自分で書いた英語を第三者に見てもらうことで間違いに気づくことができます。また他人が書いた英語を読んでもみるのも勉強になります。

4 翻訳ソフトの使い方の検討。

最近では翻訳ソフトが進歩してきています。東北大で行われた技術研究会では **DeepL** を使用の紹介がなされました。正確に翻訳するには英語に直しやすいような日本語の入力が必要です。どういう使い方をしたら良いかを検討したいと思います。英語の能力向上には役に立たないかもしれませんが、とにかく英語にしなくてはいけないときは役に立つと思います。